

平和な社会の実現を 大山口列車空襲慰霊式



64年経った今も遺族の思いは変わらない
(大山口駅横の慰霊の碑前で列車空襲の犠牲者を追悼する参列者)

大山口列車空襲事件の犠牲者の追悼と平和への祈りを込めた「慰霊と平和祈念の集い」が、列車空襲のあった7月28日、大山口駅の慰霊碑前で行われました。

大山口列車空襲事件とは、今から64年前の昭和20年7月28日朝8時ごろ、11両編成（うち前2両が赤十字マークを掲げた傷病者専用車両）の鳥取発出雲今市（現出雲市）行き列車が、大山口駅手前200m（上野集落近傍）の地点で、米海軍艦載機による銃爆撃を受け、傷病兵と一般市民の45人が死亡し、また多くの負傷者を出した、痛ましくも忘れてはならない事件です。

この日の式典には、遺族や当時この事件に遭遇した方をはじめ、平和学習で大山口列車空襲事件を学んだ大山町内外の小学生など約150人が参列し、犠牲者を追悼するとともに、戦争のない平和な社会の実現に祈りを捧げました。

自然を満喫 甲川溪流まつり



大人も子どもと一緒につかみ取り！

中山まちづくり実行委員会（岸本耕二会長）主催の恒例の甲川溪流まつりが8月2日、甲川うぐいす橋の下の広場で行われました。

例年この時期は夏の晴天に恵まれることが多いですが、今年は梅雨明けが遅れあいにくの天気となりました。この天気にも負けず町内外から223人の親子連れが集まり、甲川の自然を十分に満喫しました。

開会セレモニー後、川に放流されたヤマメのつかみ取りに年齢別に挑戦。参加者は足下をスイスイと逃げるヤマメに、悪戦苦闘しながらつかみ取っていました。

昼食には捕まえたヤマメを塩焼きし、流しそうめんも楽しみ夏休みの一日を親子で楽しみました。

プールに水しぶき 大山町水泳大会



きれいなプールで力泳を披露

7月26日、大山町体育協会主催の水泳大会が名和小学校プールで行われました。

部落・職域など、小学生から80代まで約20人が参加し、暑い夏空にもかかわらず、真っ黒になりながら元気に泳ぎました。参加者からは「きれいなプールで気持ちよかった」「また来年も参加したい」などの声も聞かれました。

選手・応援団には参加賞として大山町北壁の水が配られ、主催者が「また来年もみんなに喜んでもらえるよう楽しい大会を行いたい」と抱負を述べました。

主な結果は次のとおりです。

【団体順位】

部落の部

優勝 中山口部落

職域等の部

優勝 チーム西小